



# けんいちだより

2020年4月8日発行

発行責任者：(公明党 さいたま市議会議員) さいとう健一 住所：さいたま市見沼区深作 3-22-7

## さいたま市議会 2月定例会 (令和2年度予算審議)

2月4日(火)～3月19日(木)まで45日間の会期で、さいたま市議会2月定例会が開かれました。今議会は、総合政策委員会で議案外質問と、令和2年度の当初予算案について予算委員会メンバーとして審議いたしました。

### <議案外質問>

#### 1、中小企業支援について

- (1) さいたま市の中小企業支援センターの活動について
- (2) 経済的被害の緊急支援について(新型コロナウイルス影響による支援)

#### 2、プレミアム付商品券について

- (1) 市民税非課税の方について
- (2) 小さな乳幼児のいる子育て世帯主の方について
- (3) 市独自のプレミアム付商品券について

\* 議事録はホームページに掲載



総合政策委員会で質疑を行う、さいとう健一

### <予算委員会>

令和2年度当初予算は1兆58億円で、そのうち一般会計予算は、前年度比1.1%増の5627億円で、5年連続の過去最高予算額と更新になりました。

約2週間に渡る全ての予算審議で質疑を行い、2021年の先の「新たなさいたま市の創造」に向けた更なる成長・発展予算として、会派を代表して賛成討論を行いました。

新型コロナウイルスの感染拡大の緊迫した非常事態のなかでの議会となりましたが、無事に審議を終えて、新年度予算案を可決いたしました。

\* 討論内容はホームページに掲載



予算案に賛成討論する、さいとう健一

## 議会質問・予算要望で反映された令和2年度予算における主な事業

### 災害に強い都市づくり

- 新たな防災ガイドブックを全戸配布
- 浸水被害軽減と新たなハザードマップ作成
- 災害時に防災情報を電話・FAXで配信
- 避難所に高齢者・障がい者等の要配慮者用物資を備蓄



### 子育て・教育支援および教育環境の拡充

- 民間の危険なブロック塀対策を計画的に実施
- 宿泊型とデイサービス型の産後ケア事業を新たに開始
- 新生児聴覚検査の受診費用を新たに助成
- 待機児童解消に向けて保育施設のさらなる整備を実施
- 放課後児童クラブの支援員処遇改善と民設クラブのさらなる整備を実施
- SNSを活用した相談窓口を開設
- いじめ防止等の取り組みを強化
- 市立高等学校体育館に空調機を整備



→ウラ面に続く

## 高齢者・障がい者支援等、福祉の充実

- 高齢者のセカンドライフを支援
- 高齢者の健康づくりを応援
- 障がい者の相談支援体制の強化
- 生活困窮者の学習支援教室を開催
- さまざまな福祉に関する相談に包括的に対応

\* 事業詳細はホームページに掲載

## 市民の利便性向上と住みやすいまちづくり

- 大宮駅の機能高度化と周辺まちづくりを推進
- 「Maas」(マース)や次世代型乗合交通の導入に向けた検討
- 公園遊具の修繕や更新による安全性向上
- 振り込め詐欺の防止対策を実施

# ～ 新型コロナウイルスを防ぐには ～



## ○新型コロナウイルス感染症とは

発熱やのどの痛み、咳が長引くこと(1週間前後)が多く、強いだるさ(倦怠感)を訴える方が多いことが特徴です。特にご高齢の方や基礎疾患のある方は重症化しやすい可能性が高く、飛沫感染と接触感染により感染します。



## ○日常生活で気を付けること

何より手洗いが大切です。そして、咳エチケット(マスクが無い方はハンカチ等で口を押える)をお願いします。また、できるだけ人込みの多い場所を避けるようにして下さい。



## ○次の症状がある方は「帰国者・接触者相談センター」にご相談ください。

風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている。

(解熱剤を飲み続けなければならないときを含みます)

強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある。

さいたま市の「帰国者・接触者相談センター」は、保健所の疾病予防対策課になります。

電話番号 048-840-2220(8:30～17:15土日祝も対応しています)

夜間の相談は、埼玉県「新型コロナウイルス感染症県民サポートセンター」にご相談下さい。

電話番号 0570-783-770(夜間17:15～翌8:30)



上記の症状まででは無いが、ご自身の症状に不安がある場合は、お住いの「区役所保健センター」にご相談下さい。

見沼区保健センターの電話番号 048-681-6100(平日8:30～17:15)

## ＜新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業で、生活資金でお悩みの皆さまへ＞

「生活福祉資金貸付制度」を、お住まいの市区町村社会福祉協議会で受付いたします。この制度の特徴は、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、貸付の対象世帯を低所得世帯以外に拡大し、休業や失業等により生活資金でお悩みの方々に向けた、緊急小口資金等の特例貸付として無利子・保証人不要で実施します。

(相談内容で上限10万円～20万円以内)

さいたま市民の方は、各区役所内の社会福祉事務所が受付・相談窓口となります。

(出来るだけ、事前に電話予約をしていくと受付がスムーズに行えます。)

見沼区社会福祉事務所の電話番号 048-684-3322(平日8:30～17:15)

